



1 第52回通常総会の開催

第52回通常総会が、平成21年5月28日午後3時30分から東海大学校友会館において開催された。

環境省の橋詰博樹廃棄物対策課長（当時）から祝辞をいただいた後、総会議長に森下副会長を選出し、議案審議を行った。はじめに、平成20年度の事業報告、決算報告と平成21年度事業計画、予算について承認及び決定がなされた。

つづいて、役員を選任について審議がおこなわれ、4月に行われた正会員全社の記名連記式投票による選挙の結果から第1回理事会で選出された正会員理事12名と、特別会員から推薦された理事11名、監事2名が全会一致で承認された。



祝辞を述べる環境省
大臣官房廃棄物・リサイクル対策部
橋詰廃棄物対策課長（当時）

会長、副会長、専務理事の再選

総会を一時中断して開催した理事会において、会長、副会長、専務理事の選任について協議した結果、会長には、羽矢 惇氏（新日鉄エンジニアリング株式会社代表取締役社長）が、また副会長に森下忠幸氏（社団法人日本環境衛生施設工業会）と安元 豊氏（日立造船株）、専務理事に木下正明氏（社団法人日本環境衛生施設工業会）がそれぞれ再任され、再開後の総会で報告された。



第52回通常総会であいさつする羽矢会長（右）と議長の森下副会長

会長表彰

工業会の事業活動に永年貢献された功績により、川出文雄氏(株西原環境テクノロジー)、大門與志治氏(アタカ大機株)、長谷川公三氏(新明和工業株)、札本泰克氏(株IHI)、森川則三氏(株西原環境テクノロジー)の5氏が会長表彰を受け、受賞者を代表して大門氏から謝辞があった。



会長表彰を受賞した4氏
(左より川出氏、大門氏、長谷川氏、森川氏)

2 理事会の開催

◇平成21年5月12日

(平成21年度第1回)

- ・特別会員の理事又は監事への推薦について
- ・会長表彰について
- ・第52回通常総会議案について
- ・入会金の特例に関する内規について
- ・活性化を目指すための検討の方向(メモ)について

◇平成21年5月28日(平成21年度第2回)

- ・会長、副会長(2名)、専務理事及び常任理事の互選について

◇平成21年6月19日(平成21年度第3回)

- ・企画運営委員会委員会社及び技術委員会委員会社の推薦について
- ・正会員の退会の承認について



環境大臣表彰を受賞した3氏
(左より一瀬氏、澁谷氏、宮田氏)

◇平成21年7月1日(平成21年度第4回)

- ・常任理事の選任について
- ・理事の業務分担について
- ・常任参与の選任について
- ・理事の辞任について

◇平成21年10月8日(平成21年度第5回)

- ・理事の交代について
- ・正会員への入会の承認について
- ・「入会金の特例に関する内規」の一部改正について
- ・正会員の退会の承認について

◇平成21年12月14日(平成21年度第6回)

- ・「企画運営委員会規程」及び「技術委員会規程」の一部改正について
- ・技術委員会委員の推薦について

◇平成22年2月2日(平成21年度第7回)

- ・正会員への入会の承認について
- ・企画運営委員会委員の推薦について
- ・技術委員会委員の推薦について

3 環境大臣表彰

一般廃棄物処理に関する公益法人等において当該事業の向上及び発展に顕著な功績があつた者に贈られる環境大臣表彰(一般廃棄物関係事業功労者)が、宮田治男氏(三機工業株)に、廃棄物等の発生抑制、循環的な利用及び適正処分又は浄化槽によるし尿及び雑排水の適正処理に



講演する環境省大臣官房廃棄物・リサイクル対策部の
徳田廃棄物対策課長

関する研究開発において、学術的及び実用的に広範かつ有益な成果を上げ、その成果によって廃棄物処理事業又は浄化槽関係事業の発展に顕著な功績があった者に贈られる環境大臣表彰(廃棄物・浄化槽研究開発功労者)が、一瀬正秋氏(アタカ大機(株))と澁谷榮一氏(JFE 環境(株))に贈られることになり、平成 21 年 10 月 26 日に福岡県福岡市のアクロス福岡で開催された第 53 回生活と環境全国大会の式場で表彰状が授与された。

また、後日表彰を受けた 3 氏には、当工業会木下専務理事から工業会からのお祝い品が贈呈された。

4 講話会の開催

平成 21 年 10 月 2 日に、「廃棄物処理行政の現状と課題」をテーマに講話会を開催した。

同講話会では、環境省 廃棄物・リサイクル対策部の徳田博保廃棄物対策課長に講演をいただき、会員会社から 23 名が聴講した。

5 セミナーの開催

平成 21 年 12 月 17 日に、「ごみ処理施設整備・運営事業の現状と課題」をテーマにセミナーを開催した。

同セミナーでは、(財)日本環境衛生センターの藤吉秀昭常務理事に講演をいただき、会員会



熱心に聴講する会員

社から 33 名が聴講した。

6 新処理技術施設見学会の開催

平成 21 年度の施設見学会は、11 月 20 日に、鹿児島県奄美市の大島地区衛生組合 有良汚泥再生処理センター及び名瀬クリーンセンターを対象に行った。鳥取環境大学 田中 勝教授を団長に会員会社から 16 名が参加した。

7 意見の提出

- 1) 環境省の廃棄物処理制度専門委員会報告書(案)に対する意見募集(パブリックコメント)について、熱回収関連の意見を提出した。
- 2) 資源エネルギー庁の再生可能エネルギーの全量買取に関する意見募集について、廃棄物発電からの電力を買取対象にするべきとの意見を提出した。
- 3) 環境省の「地球温暖化対策の基本法」の制定に向けた意見募集(小沢環境大臣からのメッセージ)について、廃棄物発電の電力を固定価格買取制度の対象にするべきとの意見を提出した。

8 外部からの受託事業の実施

- 1) 廃棄物処理施設等標準発注仕様書作成調査に関する技術協力業務
環境省から標題の業務を受託した(財)日本環



名瀬クリーンセンター

有良汚泥再生センター



担当職員から詳細な説明を受ける参加者



境衛生センターから同事業関連の検討業務を受託し実施した。

2) 廃棄物処理施設におけるストックマネジメント導入手法に係る検討業務

環境省から標題の業務を受託した(財)日本環境衛生センターから同事業関連の検討業務を受託し実施した。

3) 一般廃棄物処理施設の基幹的設備改良マニュアル策定業務

環境省から標題の業務を受託しマニュアル作成業務を行った。

9 関係団体等の各種委員会等への参画

1) (社)全国都市清掃会議

・「都市清掃」編集委員会

・研究事例発表会 実行委員会

2) (財)日本環境衛生センター

・「生活と環境」編集委員会

・廃棄物処理施設技術管理者講習会 運営委員会

・技術管理者等スキルアップ研修会テーマ検討委員会(第1,2分科会)

・廃棄物処理施設におけるストックマネジメント導入手法調査検討委員会

3) 一般社団法人 廃棄物処理施設技術管理協会

・「環境技術会誌」編集委員会

4) (財)日本産業廃棄物処理振興センター

- ・「テキスト作成委員会」
- 5) 一般社団法人 廃棄物資源循環学会
 - ・アジア太平洋廃棄物専門家会議実行委員会
ワーキンググループ
- 6) 横浜市
 - ・焼却設備の長期休止期間における維持管理
手法検討委員会
- 7) (社)産業と環境の会
 - ・廃棄物分野における温暖化対策検討委員会
- 8) (財)日本環境整備教育センター
 - ・分散型污水处理技術の国際展開のあり方
に関する検討会
- ・「ダイオキシン類業務に係る作業指揮者養成
研修会」(東京分) 5科目(5名)
- ・「ダイオキシン類作業従事者特別教育イン
ストラクターコース」(大阪分) 2科目(2名)

10 関係団体等の各種講習会等への講師派遣

- 1) (財)日本環境衛生センター
(講師派遣延 50 名)
 - ・平成 21 年度
「廃棄物処理施設技術管理者講習会」
 - ① 中間処理施設コース 8科目(8名)
 - ② 産業廃棄物焼却施設コース 8科目(8名)
 - ③ 破碎・リサイクル施設コース
23科目(23名)
 - ④ 有機性廃棄物資源化施設コース
5科目(5名)
 - ・平成 21 年度
「技術管理者等スキルアップ研修会」
 - ① 第 1 分科会(ごみ処理施設関係)
3科目(3名)
 - ② 第 2 分科会(し尿処理施設関係)
3科目(3名)
- 2) (財)日本産業廃棄物処理振興センター
(講師派遣延 10 名)
 - ・産業廃棄物又は特別管理産業廃棄物処理業
の収集・運搬/処分課程(更新講習会)
4科目(4名)
 - ・特別管理産業廃棄物の収集・運搬/処分課
程(新規講習会) 3科目(3名)
 - ・産業廃棄物の収集・運搬/処分課程(新規講
習会) 3科目(3名)
- 3) 中央労働災害防止協会 (講師派遣延 7 名)

